

# 近江八幡市新巻町・浄土寺町水害履歴マップ①

地域特性と平成 25 年 (2013)9 月 16 日台風 18 号の被害状況と避難行動



令和元 (2019) 年 10 月 21 日 滋賀県近江八幡市浄土寺町 浄土寺町公民館で行った聞き取り調査に基づき作成

作成 関西大学 景観研究室 (近江八幡市都市計画地図上に作成) 0 50 100 (m)

**【北風による雨雲】**  
日野川流域では下流側から上流側に向けて北風の吹くことが多く、鈴鹿山脈にぶつかることで上昇気流が発生し大雨の原因となる。

**【今後の避難行動の判断について】**  
※調査当日に出された意見  
以前は、大雨時に消防団が見廻り活動を行っており、堤防が危険な状態になると、自治会全体に知らせていた。現在も消防団によって見廻り活動は行われているが、人命優先の考えから、危険の際には消防団も避難するようにするため、堤防の危険を自治会に知らせる仕組みがない。  
住民の方が直接堤防を見に行くことは危険であるが、現在では滋賀県のHPから安吉橋の水位データを確認することが可能である。この情報を利用して避難の判断を行うのが望ましい。

**【透過水、噴砂、噴水箇所】**  
浄土寺町、新巻町内には大雨時に日野川の堤防から水が滲出しやすい箇所がいくつか存在する。  
これは日野川堤防が砂礫でできているためではないかと考えられる。

参照：  
馬淵学区まつづくり協議会 安心・安全部会  
令和元年 6 月作成資料

**【新巻町の樋門と裏山からの流水】**  
日野川増水時には、日野川の水が堤内に逆流するのを防ぐため、堤防に設けられた上流側と下流側の二つの樋門を閉める。樋門の開閉は新巻町の自治会役員が担当している。以前は木製の樋門であった。  
大雨時に新巻町の日野川堤防の樋門を閉じると、集落の裏山である雪野山(竜王山)に降った雨が堤外に排出できず堤内に溜まるため、田が浸水し溜池のようになる。  
平成5~10年(1993~1998)に行われた圃場整備により新設された排水路によって、山に降った雨がある程度は直接堤外に排水されるため、浸水被害が幾分か軽減されている。



現在の北側樋門の様子  
2019.10 景観研究室撮影

**【台風 18 号 避難行動】**  
災害当時は浄土寺町では、竹林寺に避難した人がいた。現在は、土砂災害の危険を考慮し、市指定避難所はグリーンピア近江八幡ゴルフに変更されている。

**【台風 18 号 被害】**  
Kさん宅の裏山が崩れ、家屋内に土砂が流入した。発災直後、Kさんは部屋で就寝していたが、あまりの雨音に不安を感じ、隣室のテレビで情報を得ようと移動した。その直後に裏山が崩れたが、人的被害はなかった。

**【消防団の見廻り】**  
現在も大雨時には消防団が見廻りを行っている。

**【台風 18 号 被害】**  
裏法面が崩壊した。ここは以前より大雨時に水がよく滲出する箇所である。

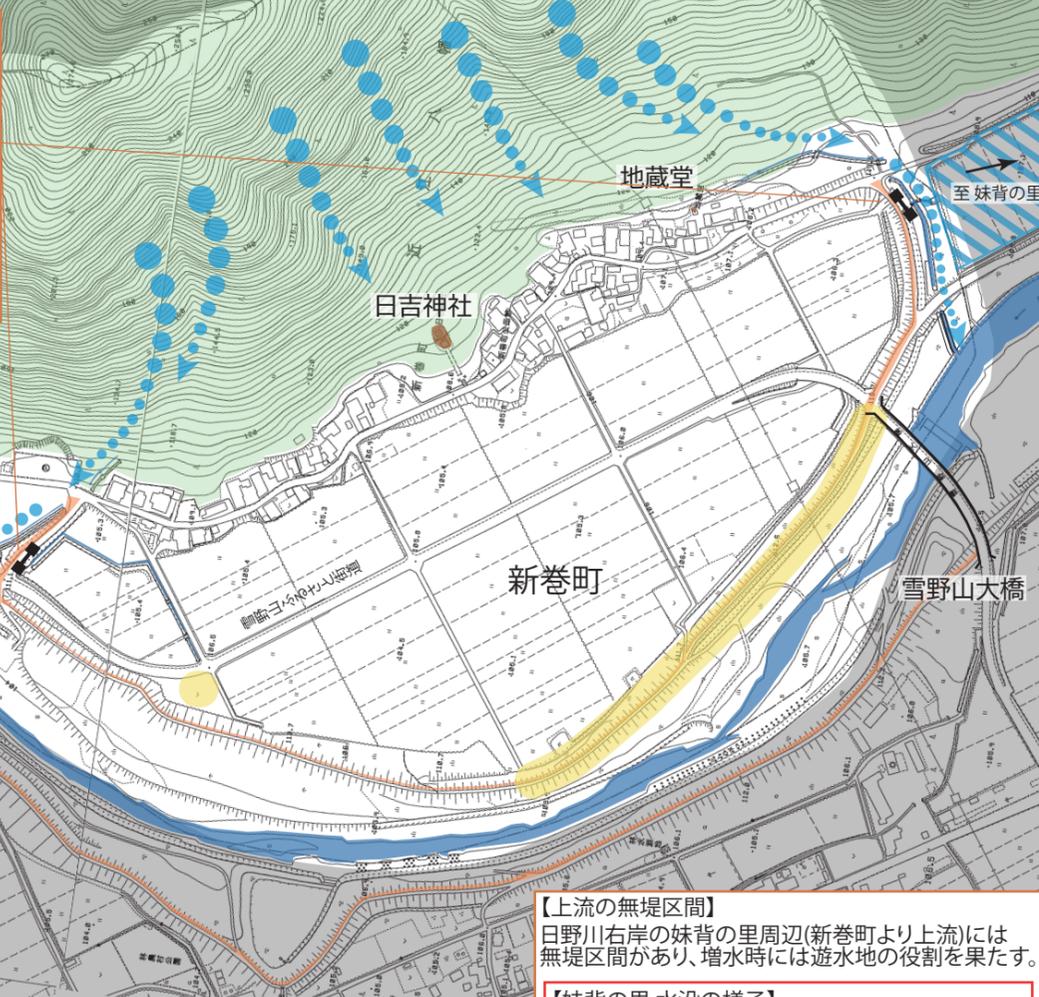
**【遊水地の機能】**  
日野川沿いの堤防は、右岸側(馬淵)より左岸側(竜王)の方が地盤が高いため、大雨時には右岸側が遊水地として機能する。

**【切れ所】**  
浄土寺町には、「切れ所」と呼ばれる、昔からよく堤防が決壊する箇所がある。ここには、明治29年(1896)以前から土地改良前まで、付近の田圃の中に浸水対策のための砂を集めて保管していた。この箇所の堤防補強工事(川表に矢板、川裏にブロックを設置)が4年にわたって行われており、令和元年に竣工した。

**凡例**

- 河川
- 山地
- 堤防
- 堤防噴砂・噴水箇所※
- 樋門
- 崩壊箇所
- 水の流れ

※参照：  
馬淵学区まつづくり協議会 安心・安全部会  
令和元年 6 月作成資料



**【安吉橋 増水時の様子】**  
提供：  
馬淵学区日野川改修推進対策協議会 園田 氏



台風 18 号 増水時 平常時

**【上流の無堤区間】**  
日野川右岸の妹背の里周辺(新巻町より上流)には無堤区間があり、増水時には遊水地の役割を果たす。

**【妹背の里 水没の様子】**  
提供：  
馬淵学区日野川改修推進対策協議会 園田 氏



妹背の里水没 16日6:30頃  
台風 18 号 増水時

## 平成 25 年 (2013) 台風 18 号の被害

**【概要】**

- 全国 死者…6名 住家全壊…48棟 床上浸水…3,011棟<sup>※1</sup>
- 滋賀県 死者…1名 住家全壊…10棟 床上浸水…49棟<sup>※2</sup>

- 14日午前9時に強風域の半径が500kmを超えて大型の台風となり、15日午後6時には暴風域を伴った。<sup>※1</sup>
- 滋賀県には15日から16日にかけて接近。当台風は記録的な大雨となり、16日午前5時5分には全国初の大雨特別警報が発表された。<sup>※2</sup>
- 最大24時間雨量は大津市の葛川で592mmを観測するなど、滋賀県内の各地の雨量観測点で、観測史上最大雨量を観測。<sup>※2</sup>
- また、安曇川下流部(高島市)では氾濫危険水位を11時間以上にわたり超過するなど、長時間にわたった高水位が続く河川が多くみられた。<sup>※2</sup>

※1. 国土交通省 気象庁「台風第18号による大雨 平成25(2013)年9月15日~9月16日 (速報)」p.65より  
<https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/data/bosai/report/2013/20130915/20130915.html>

※2. 滋賀県 HP「水害情報発信サイト 平成25年9月台風18号水害概要」より <https://www.pref.shiga.lg.jp/suigaiyouthou/gaiyou/105805.html>

**【新巻町・浄土寺町での被害状況】**

- 日野川は天端から1m下の高さまで増水したが、堤防は決壊していない。
- 日野川の増水に加え、川の流れて逆方向の北風が吹いたため、さらに水位が高くなった。